



### あすカルビー(奈良市)

昔はいちごと言えば、春から初夏にかけての果物でしたが、今ではハウス栽培により11月頃から食べられます。12月中旬ごろから徐々に出荷が増えますが、いちごが一番おいしいのは、じっくりと時間をかけて育ち、寒さに負けないよう糖度が高まる1~2月とされています。

『あすカルビー』は、奈良県が育種し平成12年に品種登録されたいちごです。色と光沢が「まるで宝石のよう」で、さらに「奈良らしさ」を加えてネーミングされた、人気の品種です。

### ◆◆ 主な内容 ◆◆

- トピックス
- ・ FOOD ACTION NIPPON
  - ・ 「2010年世界農業センサス」を実施します
- インフォメーション
- ・ 「消費者の部屋」のご案内
  - ・ 米粉マッチングフォーラムの開催について
  - ・ 「地球温暖化講演会」のご案内
  - ・ 明日の安心と成長のための緊急経済対策
  - ・ 「防災とボランティアの日」

他

詳しい情報は、近畿農政局ホームページで

<http://www.maff.go.jp/kinki/>

## 農政局からの お知らせ

### 明日の安心と成長のための緊急経済対策 (バイオマス関連事業)について

平成21年12月8日に成立した「明日の安心と成長のための緊急経済対策」のうち 環境省、農林水産省のバイオマス関連事業をご紹介します。

- 環境省
  - ・中核市・特例市グリーンニューディール基金の創設
  - ・チャレンジ25地域づくり事業
  - ・温室効果ガス排出削減・吸収クレジット創出支援事業

- 農林水産省
  - ・農山漁村環境力強化実証事業(新規)

詳しくはこちら  
<http://www.maff.go.jp/kinki/kikaku/biomass/renraku/asitanotame-kakusyou.html>

### 「防災とボランティアの日」毎年1月17日及び 「防災とボランティア週間」1月15日~21日まで

阪神・淡路大震災を契機として、広く国民が、災害時におけるボランティア活動及び自主的な防災活動についての認識を深めるとともに、災害への備えの充実強化を図ることを目的として、「防災とボランティアの日」及び「防災とボランティア週間」を平成7年の閣議了解事項として設けています。

- 問い合わせ先 生産経営流通部 農産課  
電話 075-414-9021

詳しくはこちら(内閣府 防災情報のページ)  
[http://www.bousai.go.jp/volunteer/html/detail\\_kakugi.html](http://www.bousai.go.jp/volunteer/html/detail_kakugi.html)

## 農林水産省近畿農政局

総務部情報推進課	〒602-8054 京都市上京区西洞院通下長者町下ル丁子風呂町	TEL(075)451-9161FAX(075)414-8812
滋賀農政事務所	〒520-0806 滋賀県大津市打出浜3-49	TEL(077)522-4261FAX(077)523-1824
大阪農政事務所	〒540-0008 大阪市中央区大手前1-5-44 大阪合同庁舎1号館6F	TEL(06)6943-9691FAX(06)6943-9699
兵庫農政事務所	〒650-0024 神戸市中央区海岸通29 神戸地方合同庁舎 4F	TEL(078)331-9941FAX(078)331-5177
奈良農政事務所	〒630-8307 奈良市西紀寺町13	TEL(0742)23-1281FAX(0742)22-4159
和歌山農政事務所	〒640-8143 和歌山市二番丁2 和歌山地方合同庁舎	TEL(073)436-3831FAX(073)436-0914

## 農政事務所からの お知らせ

### 大阪農政事務所

#### 子どもの生活習慣づくり フォーラム in おおさかのご案内

大阪農政事務所は、以下の場所において、食事バランスガイドの普及啓発を目的に、パネル展示や関連冊子の配布と食生活診断プログラムによる診断等を行います。

- 日時 1月30日(土) 10:00~16:45

- 場所 NHK大阪ホール、大阪歴史博物館、国民會館、NHK大阪ホールアトリウム周辺

- 問い合わせ先  
大阪農政事務所 消費生活課  
電話06-6941-9691

詳しくはこちら  
<http://www.pref.osaka.jp/chikikyoiku/kodomonoseikatu/index.html>

### 和歌山農政事務所

#### 「移動消費者の部屋」を開設しています

毎月19日の「食育の日」に、下記直売所で「移動消費者の部屋」を開設し、消費者の皆様からの食に関する様々な相談をお受けしています。

同ブースでは食事バランスガイドや食育推進についてパネル展示と解説、地元食材メニューのサービング等の配付を行っています。

また、月ごとに設けたテーマについて、解りやすく紹介します。

- 1月のテーマ 「食事バランスガイドの活用」
- 紀の川市 「めっけもん広場」
- 日時 1月18日(月) 9:30~16:00
- 海南市 「とれたて広場」
- 日時 1月19日(火) 10:00~16:00
- 問い合わせ先  
和歌山農政事務所 消費生活課  
電話：073-436-3853 (内線320)
- 詳しくはこちら  
<http://www.maff.go.jp/kinki/jimusyo/wakayama/local/info/heyu.html>



## FOOD ACTION NIPPON

みんなで食料自給率アップ!

日本国内にとどまらず、世界規模で食料問題がますます深刻化する中、国産農産物の消費拡大は食料自給率向上を実現する最も有用な手段であると考えられてきています。

そのためには、消費者の啓発と意識改革にとどまらず、「生産」「流通」「消費」のそれぞれの現場で問題意識を認識・共有し、消費者・企業・団体・地方公共団体など、全ての国民が一体となって国産農産物の消費拡大を具体的に推し進めることが重要な課題となっています。

1 「いまが旬」の食べものを選びましょう	2 地元でとれる食材を日々の食事に活かしましょう
3 ごはんを中心に、野菜をたっぷり使ったバランスのよい食事を心がけましょう	4 食べ残しを減らしましょう
5 自給率向上を図るさまざまな取組みを知り、試し、応援しましょう	

あなたのアクションは...?

### 「わたしのアクション」宣言大募集!!

FOOD ACTION NIPPONでは、今「わたしのアクション」宣言を募集しています。自分の生活の中で、食料自給率アップにつなげるための様々なアイデアを、自由にご応募ください。個人でも、企業・団体でもかまいません。たくさんのご応募お待ちしております!

### 食料自給率を上げるわたしのアクション

みんなで食料自給率をアップさせよう!

わたしたちも宣言しました!

農林水産大臣 赤松 広隆



農林水産大臣政務官 舟山 康江



詳しくはこちら <http://syokuryo.jp/myaction/>

### 平成22年2月1日現在で、「2010年世界農林業センサス」が実施されます。

農林業センサスは、全国一斉に農林業や農山村の実態を調べ、その結果は国や地方の農林業施策の企画・推進に役立つとても重要な調査です。平成22年2月頃に農業や林業を行っている農家、林家、法人の方や農業集落の精通者の方のところへ、調査員がお伺いして調査を行いますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

#### ●問い合わせ先

- ・府県、市町村の統計主管課
- ・近畿農政局、農政事務所及び統計・情報センター

詳しくはこちら

<http://www.maff.go.jp/j/tokei/census/afc/index.html>



## 農政局からののお知らせ

### 近畿農政局「消費者の部屋」のご案内

林野庁 近畿中国森林管理局 箕面森林環境保全ふれあいセンターでは、里山再生・整備活動や森林環境教育に主眼をおき、「身近な森林(もり)の再発見」をテーマとしてグループ対抗里山デジカメ選手権を開催しました。

学校、森林ボランティア、企業、家族などグループを対象に3枚の組写真を募集し、写真家 今森光彦氏、農学博士 只木良也氏、フリーアナウンサー 青山佳世氏を審査員に迎えて、平成21年11月7日、滋賀県立琵琶湖博物館において公開審査を開催しました。

審査の結果、最優秀賞(林野庁長官賞)1組、琵琶湖博物館長賞1組、優秀賞(近畿中国森林管理局長賞)7組を決定しましたので、今回はこれらの入選作品を展示します。

テーマ 身近な森林(もり)の再発見!!

～「グループ対抗里山デジカメ選手権」入選作品展示～

期間 平成22年1月4日(月)～1月29日(金)

8時30分～17時(土、日、祝日を除きます。)

場所 近畿農政局1階消費者の部屋「常設展示コーナー」

内容 公開審査をし決定した9組の作品

#### ●問い合わせ先 消費・安全部 消費生活課

電話 075-414-9761

箕面森林環境保全ふれあいセンター

電話 075-414-9049

詳しくはこちら

<http://www.maff.go.jp/kinki/syouhi/seikatu/tenji/20100104.html>

### 米粉マッチングフォーラムの開催について

～生産者と実需者との連携による米粉の需要拡大に向けて～

我が国の貴重な食料生産基盤である水田を有効に活用し米粉用・飼料用米の生産による自給率の向上を図ることが課題となっています。また、米粉については、製造技術等の発展により、新たな米粉食品の需要が拡大しています。

今後、米粉用米の生産・需要の拡大を図るためには、生産者と実需者等が連携を深めていくことが必要です。

このため、米粉の新たな需要創出に向け、生産者と実需者等の意見交換会を開催します。

●日時 平成22年1月26日(火) 13:30～16:30

●場所 京都テルサ 西館3階 第1会議室

京都市南区東九条下殿田町70番地

プログラム

- ・「米粉をめぐる動きと展望」 萩田 敏氏
- ・パネルディスカッション  
「生産者と実需者の連携が創る新たな需要」
- ・各府県生産者と実需者等のマッチング相談及び意見交換
- ・米粉食品の展示・試食等

定員120名(先着順 参加費無料)

申込締切は1月20日(水)まで。下記URLをご参照のうえ申込用紙をFAXで送信されるか、下記まで電話でお申し込み下さい。

#### ●申し込み先

ファクシミリでの申し込み 075-414-1384

電話で申し込み 075-414-9741

#### ●問い合わせ先 食糧部 消費流通課

電話 075-414-9741

詳しくはこちら

<http://www.maff.go.jp/kinki/press/syokuryo/syouhiryutsu/100106.html>

### 「地球温暖化講演会」のご案内(再掲)

わたしたちの住む地域において、気候変動の実態や影響はどのように変わっているのでしょうか。そして、わたしたちはどのように対処していけばよいのでしょうか。この講演会では、日本における地球温暖化の今後の見通しや影響と、バイオマス利活用による地球温暖化防止、循環型社会の形成及び近畿・中国・四国地方における気候変動の実態についてお話しします。(申込が必要です)

●日時:平成22年2月3日(水)13:15～16:40(12:45 受付開始)

●会場:エル・おおさか 南館5階 南ホール

大阪市中央区北浜東3-14

申込締切は1月20日(水)まで。下記URLをご参照のうえ申込用紙をFAXで送信されるか、下記まで電話でお申し込み下さい。

#### ●申し込み先

ファクシミリでの申し込み 075-414-9030

電話で申し込み 075-451-9161

(内線2314)

#### ●問い合わせ先 生産経営流通部 農産課

電話 075-414-9020

詳しくはこちら

<http://www.maff.go.jp/kinki/seisan/nousan/ondanka/kouenkai.html>